

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和8年3月10日(13:39~14:35)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー

吉田、佐藤、橋、河田、牧野、横井、谷口、岡、齋藤
福本(森田、亀井)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	人	12人

前回の改善計画

利用者の自宅に訪問し、自宅の環境や生活歴を知り、ご家族・ご家族ご利用者との関係を知る

前回の改善計画に対する取組み結果

「あまり出来ていない」が多いが、ほとんどできてない方はおられなかった。
自宅に訪問し、今までどんな生活をされていたかを知る事があまり出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	5	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	1	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	5		12

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

利用開始前に本人の情報を(紙で)見ることが出来ていた。また、職員間での申し送りが出来ていた。初回訪問時等、ニーズを聞くようにしている。通いサービス利用開始時に、挨拶や声掛けを積極的に行い、少しでも早く本人さんの居場所となるように対応してくれていた。面会や送迎等家族様が来訪時、挨拶や会話をしっかりできていた。分からない事があれば各ファイルや記録を見て情報を収集している。

できていない点

200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること

利用開始前・開始時に、管理者・ケアマネからの情報共有が出来ていない(利用開始前のケア会議が出来ていない)。限られた方(自分が関われる時間や状況のみ)のみとなり、会ったり話したりする機会が出来ていなかった。(全ての情報を知って利用が始まっているわけではないので)緊急時の対応に時間がかかってしまう。利用開始前の情報が取れていなかった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

新規利用者や登録利用者退院時には、ケア会議をおこない、ケアプランと本人の状態を即座に共有する。情報共有のスピードアップ: 紙媒体の遅さを補うため、ケアコロポの申し送り機能や PDF 共有を活用し、どのタブレットからでも最新情報を確認できるようにする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年3月10日(13:39~14:35)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 吉田、橋、河田、牧野、横井、谷口、岡、齋藤
福本心(森田、亀井)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	7人	人	12人

前回の改善計画
利用者の自宅に訪問し、自宅の環境や生活歴を知り、ご家族・ご家族ご利用者との関係を知る

前回の改善計画に対する取組み結果
「あまり出来ていない」が多いが、ほとんどできてない方はおられなかった。
自宅に訪問し、今までどんな生活をされていたかを知る事があまり出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	5	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	1	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	5		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前に本人の情報を(紙で)見ることが出来ていた。また、職員間での申し送りが出来ていた。初回訪問時等、ニーズを聞くようにしている。通いサービス利用開始時に、挨拶や声掛けを積極的に行い、少しでも早く本人さんの居場所となるように対応してくれていた。面会や送迎等家族様が来訪時、挨拶や会話をしっかりできていた。分からない事があれば各ファイルや記録を見て情報を収集している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始前・開始時に、管理者・ケアマネからの情報共有が出来ていない(利用開始前のケア会議が出来ていない)。限られた方(自分が関われる時間や状況のみ)のみとなり、会ったり話したりする機会が出来ていなかった。(全ての情報を知って利用が始まっているわけではないので)緊急時の対応に時間がかかってしまう。利用開始前の情報が取れていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新規利用者や登録利用者退院時には、ケア会議をおこない、ケアプランと本人の状態を即座に共有する。情報共有のスピードアップ: 紙媒体の遅さを補うため、ケアコラボの申し送り機能や PDF 共有を活用し、どのタブレットからでも最新情報を確認できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	4人	8人	12人

前回の改善計画

毎週木曜日にフロアミーティングを行なえるように準備していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

毎月一回、第一火曜日に会議を実施した。また、毎日の朝・夕の申し送りでも直近の情報共有をおこなった。ケアプランを適切な作成手順で作成できておらず、「～したい」の共有は出来ていなかった。「ほとんどできていない」が多く見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	7	2	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	7	2	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	6	2	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	5	4	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人の目標を利用者情報やケアプラン (ケア記録表上部) で確認して関わっている。利用者さんのケアプランやアセスメントに目を通してしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

毎週木曜日のフロアミーティングは行えていない。全ての利用者の目標を把握できていない。目標は分かっているが (達成できるかどうか) 自信がない。ミーティングが少なく、(一週間に一回の) 計画的な開催が出来ていない。訪問のみの利用者さんの目標を分かっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ケアプランの長期目標や短期目標をケアコラボのトップ画面に記載し目標を掲示し、常に意識できるようにする。また、日常会話を本人の言葉で記録しケアプランに反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	6人	1人	人

前回の改善計画
生活環境やご家族様との関係性の構築の為に、全職員が関われるように行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
その時々各個人のケア力やその後の現場での情報共有によりなんとか出来ている。過去(アセスメントの薄さ)や未来(ケアプランの薄さ)を見据えたケアが難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	9	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		9	2	1	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	5	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9	2		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6	4	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝礼で本人の気持ちが共有されている。職員間で共有が出来ている。変化があれば直ぐに対策を取り情報を(ケア記録表や申し送り)で共有している。また、体調を見ながらそれぞれの利用者さんをケアしている。本人に合わせた介護が出来ている。その時々利用者さんの様子や(状態)状況に応じた介護が出来ている。日勤夜勤の情報共有が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自宅での生活環境に接することがない。ご家族と接する機会が少ない。一度も自宅に行ったことがない方はできない。(初期の情報が少ない事及びミーティングの頻度が少ない為)以前の暮らしを把握できていない。利用者の情報が少ない(ので日常の支援に支障がある)。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
家族同居の登録者が多い為、本人の生活環境を家族からアセスメントする。普段の暮らしをどうされているかを送迎や訪問・モニタリングの際に確認する。また、聞き取った内容は即座にケアラボの申し送りで共有し、ケア内容の変更やケアプランの変更を行う。月3回火曜日にケア会議をおこなう。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	6人	5人	人

前回の改善計画
 ご利用者の住んでいる地域の資源を知る為に、訪問・広報活動を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者さんがその家やその地域に暮らし続けられる為に、地域の方との交流やご家族さん・お隣さんと関わるようにしている一方で、それらがケアプランやケア内容に反映しきれていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	8	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	7	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1		10	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	5	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用者本人と地域との関係が切れないように努力している。
 家族さんとの協力が出来ている。
 利用者さんとのこれまでの生活スタイルや人間関係等を把握して支援している。
 地域の方が参加されるサロンに顔を出し、覚えて頂くようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 民生員さんとのつながりが無い。地域の資源の把握が出来ていない。
 地域での訪問広報活動をしていない為、地域での情報が分からない。
 利用者さんの(住んでいる)地域の事はあまり分かっていない。
 地域・家族を知る活動が(業務に組み込まれてい)ない。地域資源の把握が出来ていない。
 通いや訪問の利用者さんとの接点が少ない、また、全くない方も居る。
 訪問は行くが広報活動は行ってない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 訪問時に家族の介護負担や悩みに耳を傾け、自宅での生活を継続できるようにする。
 また、暮らしの中で関わる近所の方や自治会の方と繋がれるようにして地域での生活を継続できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	4人	4人	12人

前回の改善計画
地域の方を呼べるようなイベントを発信し、参加をしていただく。

前回の改善計画に対する取組み結果
業務上で割り当てがなく、参加出来ていない方が居る。
地域資源の活用が、「ほとんどできていない」12人中4人となっており、地域資源がケアプランに反映できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	4	4	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	6	3	2	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	3	5	2	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	5	3	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の方がお皿洗いを手伝って下さる。定期的に地域(まちかどネット)の方の集まりを実施し事業の理解を深めている。5日おきに行っているサロンに地域の方が参加されている。カフェや生協移動店舗等地域の集まる場所となっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
イベントに参加出来ていない。事業所の中での支援となっている。
イベントを発信し参加を促すことは出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域の方にお皿洗いや障子張り替えに来てもらう事や、人の集まる場としてサロン活動を継続し、地域とのつながりを持つ。また、本人の良かったことやできること等変化を記録して、重要な記録として残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	6人	12人

前回の改善計画
今年も引き続き地域のイベント参加を行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
サロンや地域学習会等あすなら主体のイベント以外の参加はほとんどなく、参加出来ていない状況。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		3	2	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			6	6	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	5	6	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	1	5	4	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 その他サービス機関との連携は、訪問診療や福祉用具等で連携できている。
 サロンを通じた地域住民との関り
 施設に出入りされる全ての人に挨拶しコミュニケーションを取っている。
 地域の方が5と0のつく日に毎月サロンで食事やコーヒーを召し上がっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域と関りが持っていない。地域と繋がれているか分からない。自治体の会議の参加が出来ていない。参加の機会がなく、参加出来ない。(サロン以外の)地域の活動やイベントに参加していない。
 (カ) イベント参加がほとんどできていない。定期的に研修に(予定が組まれておらず)参加出来ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域の神社の掃除と防災訓練に利用者さんと一緒に参加する為に予定を自治会長に確認する。また、利用者さんの訪問診療医(主治医)と密な連携を取る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	2人	7人	12人

前回の改善計画
今いる「つながり連絡員」の支援している方だけでなく、新しいつながりを増やしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
新しくつながり連絡員を増やすことは出来ていないが、意見や苦情等があった場合は反映できていることもある。また、「つながり連絡員」への連絡の仕組みが出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	3	6	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	8		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	7	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		4	7	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域との方が集えるサロンの場所を提供・運営のお手伝いを実施している。地域学習会を通して、元気な体作りに対する学習発信相談受付を行っている。家族さんからの心配事や相談は親身になって伺うようにしている。利用者さんや家族さんから提案や苦情が出たら、アイデアを考え取り入れるようにしている。サロンの方とは顔なじみになれている。意見の反映は出来ている。利用者さんや家族さんからの意見は管理者に伝えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
苦情を聞く機会が少ない。小規模の運営についての理解が出来ておらず、意見を運営に反映できていない。説明のみで実施がほとんどない。新しく地域の人とのつながりは作っていない。新規の方を増やすことは出来ていない。意見があっても反映できていない。地域とのかかわりを持っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者さんや家族さんからの意見を訪問時に確認すると共に、運営推進会議(2カ月に一回 第三土曜)や業務改善会議(毎月第2火曜日)を通して地域の方や職員からの意見を確認し運営改善を行う。

保留

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	7人	1人	12人

前回の改善計画	全職員の内部での許可証の取得を行い、ケアの統一を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	資格取得に積極的になってくれている職員が多い、一方で内部の許可証について取得率が 100%となっていない。地域連絡会へ参加出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		5	5	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	7	3	12
③	地域連絡会に参加していますか			7	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	7	2	12

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること 介護福祉士取得をした。実務者研修を取得した。 職場内で行われる研修に参加している。 会議の場で議論している。介護福祉士や社会福祉士の資格を書籍を読み取得した。 必要な許可証の取得が出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないこと、その理由を記入すること 地域との関りが出来ていない。地域の連絡会に参加出来ていない。研修参加が出来ていない。 (特に入浴許可証であるが) 許可証の取得が進んでいない。 現場(目の前の介護業務)優先の為、活動が後回しになっている。 許可証の取得が最小限となっている、または出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 全体会議や内部研修に参加しケアの考え方や技術を向上すると共に、包括や社協が開催している外部の研修に参加しスキルアップを行う。事故防止検討委員会を年一回以上(一回は8月頃)引き続き行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	6人	5人	12人

前回の改善計画
改めて成年後見制度についての学習会を行い理解していく。内部学習会を行い改めて虐待等の学習を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
拘束や虐待は行われておらず、「あまりできていない」以下がない状態。一方でで成年後見制度等の学習会は実施できず学習できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	6			12
②	虐待は行われていない	6	6			12
③	プライバシーが守られている	3	7	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	5	4	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	7	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報の管理が完璧とは言えない。
全体会議で一年に一回必ず学習している。
(全体会議とは別で個人的に)①～⑤を学習している。
身体拘束は無い。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度の学習会が出来ていない。研修参加が出来ていない。
成年後見制度を詳しく理解できていない。
フロアと記録場所が分けられておらず、プライバシーの保護が出来ていない。
ふらしばしーや情報の保護が出来ていない。

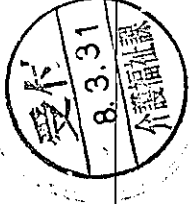
次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者情報を適切に管理すると共に、電子媒体への移行を進める。引き続き、全体会議及び内部会議で身体拘束や虐待について学習を行う。また、利用者さんの情報やお薬について適切に管理できているかを毎週水曜日に確認する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	理事長 東浦 秀己	代表者 吉田 裕貴	法人・事業所の 特徴	東大寺転書門近くの歴史ある地域で最期まで自分らしく安心して暮らし続けられるように「あすなら10の基本ケア」に沿って支援を行っています。 地域とのつながりを大切にし、地域のひとと共に考え、地域医師減として利用して頂くための取り組みを行っています。
事業所名	あすならホーム今小路	管理者 吉田 裕貴			

出席者	市町内職員	人	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	住み慣れた地域・自宅でも少し不安を感じて行えるよう他機関や家族様と協力しながら取り組んでいく	在宅生活の継続を目標に、ご本人・ご家族へ具体的な生活提案を行った。長期宿泊利用者様に対しては、週1回以上の帰宅を目指して家族会議やスケジュール調整を実施した。日々の生活の中にリハビリ要素を取り入れ、身体機能の維持と在宅生活への復帰に向けた支援を強化した。	・利用開始前の情報共有が不十分。 ・既往歴や服薬情報の把握が遅れると、体調急変時の医療連携に支障をきたすため、情報の即時共有が急務である。	・ケア記録や現場の気づきを「ケアラボ (ICT ツール)」に集約し、それを記録としてだけでなく、モニタリングや改善会議に直接活用できる仕組みを作る。 ・「ケアラボ」に家族の緊急連絡先を確実に登録し、外出先や車両内からも即座に連絡が取れるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	引き続き感染症対策をしっかりと行い安心した空間を作る相談しやすい雰囲気を作り普段の様子を感じられるよう展示の仕方も考えていく	徹底した換気管理により、安心・安全な療養環境を確保した。利用者様との共同制作による季節の装飾を展示し、視覚的にも季節感を得られる、潤いのある空間演出に努めた。	・個人情報保護のために棚の施錠や日隠しを行う必要がある。 ・薬棚だけでなく、訪問利用者の「預かり鍵」についても、紛失防止と災害時の持ち出しやすさを考慮した施錠管理が必要。	・必要な情報は「裏返して保管する」「ファイルにまとめる」等のルールを徹底し、利用者や外部から見えないようにする。 ・薬棚、預かり鍵、利用者ファイル (ピンクファイル等) の保管場所について、常時施錠と目隠し (暖簾やカーテンの設置) を徹底する。



<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>ニュースレターやケアラワーの会で地域の方との交流やイベント参加など活動の報告を行なう。地域に出かける企画を立てる。</p>	<p>ニュースレターの定期発行（毎月）を通じ、事業所の活動内容を家族へ可視化している。個人情報保護を徹底した上で写真を多用し、親しみやすい広報に努めた。また、月6回のサロン活動を軸に、利用者様と地域住民の双方向の交流を促進した。</p>	<p>・サロンや挨拶など交流があり、地域住民は好意的に受け入れている。 ・散歩中に声をかけ合うなど、温かい関係がある。 ・以前行われていたような、地域住民が気軽に参加できる場（デイサービスのような形態）を望んでいる人が今も多い。 ・運営推進会議の議事録を配布したり、年間の行事予定表（一覧表）を作成し、「今、何をしているか」を把握しやすくしてほしい。</p>	<p>・職員一人が地域住民一人と定期的につながりを持つ仕組みを徹底し、新人職員にも教育を行う ・地域住民の名簿を整理、地域のどこにどのような資源があるかを可視化したマップを作成する ・運営推進会議の定例化（2ヶ月に1回）とともに、活動報告を積極的にを行い、地域に開かれた運営を行う ・地域の業のつく日のサロンや音楽サロンなど、既存の地域コミュニティへの利用者・職員の参加を増やす。</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>地域のイベントや買い物など家族様も一緒にできるよと呼び掛けていく。</p>	<p>季節行事（花見・初詣等）に伴う外出や、地域資源（理美容等）の積極的な活用により、社会とのつながりの維持を支援した。地域清掃への参加については、今後の課題として取り組んでいく。</p>	<p>・利用者が地域を散歩する姿を見て「すごいな」と感じる住民もいる。 ・地域の一員として外に出ることは、本人に元気を与える。 ・「お世話される」だけでなく、本人が住み慣れた地域で元気に暮らすための支援へ転換してほしい</p>	<p>・自治会から提案のあった「神社の清掃活動」に利用者と一緒に参加。 ・美容室など、利用者が以前から利用していた地域資源とのつながりを継続できるよう支援。 ・本人の住んでいる地域の環境を把握し、個別の生活背景に基づいた外出支援を強化。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>地域の資源であることの周知と運営推進会議に自治会長さんや民生委員さんが参加し交流の場となるように取り組んでいく。</p>	<p>地域役員（自治会長・民生委員等）への働きかけが不十分であったため、次期は開催周知の方法を見直し、外部委員の参画を促していく。</p>	<p>・外部から事業所内部の取り組みが見えにくい。運営推進会議の議事録を配布したり、年間の行事予定表（一覧表）を作成したりして、地域や家族が「今、何をしているか」を把握しやすくしてほしい。</p>	<p>・「一覧表の作成」や「行事への招待」など、地域が事業所の活動を「見える化」する。 ・運営推進会議の定例化（2ヶ月に1回）とともに、活動報告を積極的にを行い、地域に開かれた運営</p>

			<p>「夜間の独居が心配」といった声を、災害時の優先的な安否確認リスト作成に活かす。</p>	<p>を行う。 ・民生委員や地域住民に渡せる名刺を準備し、訪問時に挨拶と連携強化を図る。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域の方、家族様の参加と一緒に防災について意識を高め事業所が安心の場になるように</p>	<p>地域ボランティアとの合同防災訓練を実施し、災害時における地域連携体制の構築と防災意識の向上を図った。</p>	<p>・地域の地名や細かな場所を把握できていないスタッフがいる。 ・スタッフからは「(緊急時の)火事が怖い」という意見。 防犯・災害時の迅速な避難動線の確保・再確認が必要。</p>	<p>・災害時、地域の独居高齢者や利用者の安否確認をスムーズに行えるよう、連絡員の名簿と担当エリアを最新の状態に整理する。 ・災害時の避難誘導や救助要請を円滑にするため、地図を活用して正確な地理を把握する。</p>